

かしこい消費者

●投資にリスクはつきもの

投資型金融商品の代表的な例は株式や債券、投資信託などですが、投資型金融商品は銀行預金と異なり、元本は保証されていないため、どの投資型金融商品についても元本損失のリスクがあります。投資に当たっては、商品内容を理解することのみならず、リスクの存在や性格、特徴を理解することが必要となります。

●債券とは

債券とは、政府部門（国や地方府）や企業（発行体）が元本の返済や利息の支払いを約束して発行する債務証券です。利率や債務の償還時期は発行時に決められています。債券の利率や償還時期、発行体の情報は「目論見書」に記載されていますので、目を通しておく必要があります。

債券は満期が到来すれば、通常は元本が償還されますが、発行体の経営状態などによっては元利の支払いが困難になるとことがあります。これを債券の信用リスクといいます。

信用リスク（支払い能力）の確認には、格付けを参考にすることができ、格付けを見る場合には、必ず2社以上の格付け会社を見る必要があります。なぜなら、格付けは格付け会社によって異なるからです。格



多種多様な投資型金融商品

変わりつつある
金融・保険

付け会社ごとの多様な見方を参考にする必要があります。なお、格付けについては、格付け会社のホームページで確認することができます。

●投資信託とは

投資信託とは、様々な投資家から資金を集め、それを投資の専門家が株式や債券などに投資し、運用成果を配当や値上がり益という形で投資家に分配するしくみを持った商品です。一般的には1口1万円程度の小口資金から始めることができますが、株式や債券で運用するため元本保証はありません。

投資信託の運用方針、運用対象、リスクの程度や手数料水準などは「目論見書」に記載されていますので、必ず目を通すことが必要です。特に手数料については、リスクの高いものほど手数料が高いという関係がありますので、必ず確認しましょう。

●株式とは

株式は、価格が上下動する代表的な投資型金融商品です。会社の業績が上向くと予想されれば株価は上昇し、利益が増加すれば配当も増加する傾向にあります。逆に業績が悪化してしまうと配当がなくなったり、株価も下落し損失を被ります。会社が倒産してしまうと、株式は紙くず化する可能性が高くなります。

株式投資には企業分析に関する学習や知識を積む必要があり、資金面で余裕のある人が、余裕資金で運用することが大切です。

（国民生活センター発行）

「くらしの豆知識」より

熊本県消費生活センター ☎383-0999 役場住民生活課 消費生活相談窓口 ☎286-3111 内線111・112
消費者地域相談員 遠山美智子 ☎286-4125 大塚慶子 ☎286-4792 吉村静代 ☎286-5914 富田セツコ ☎286-6525

ふるさとの 地名漫歩

歴史の変遷と地名

331

矢嶋姉妹周辺⑬

七郎と楯子の関係で疑問がいくつかあります。楯子は安政5年に七郎に嫁ぐが（私が嫁した林氏は竹を割った様な気品の高い派手な人でした。守屋東著「矢嶋楯子」27頁、蘆花著「竹嶋順子」109頁、10年後の明治元年に七郎の酒乱（この酒浸しの男に一生連れ添うてどうなる…赤子を抱いて矢嶋に逃げ帰り…「竹嶋順子」115頁）を理由に林家を去ります。（私は家庭には失敗者です。林家に嫁し…矢嶋家に復帰し…「矢嶋楯子」22頁）。楯子の夫七郎は母鶴子から受けた「婦徳」の教育でも耐え切れぬ程の人格破綻者だったのか、ただ勝子（楯子）の性格が一番心配だと鶴子が案じていたとの言い伝えがあり、その性格がやがて（…洪柿の渋みが出て来ます。反抗と侮蔑があらわれます。酒飲みの夫は打撃をはじめます…110頁。…林の酒と乱暴は中々止みません。洪柿の渋も容易にぬけません…112頁「竹嶋順子」）、この蘆花の記述からは、楯子が七郎の大酒を嫌い、夫婦の不和で酒乱が倍加した様

に見えます。しかし、

- 1 酒乱とされる七郎を、250石で格式を重んじる武家の林家がよく養子にしたこと。
- 2 戸長征伐で殺気立った小谷村民を説得出来たこと。説得をする勇気と信念があったこと。
- 3 村民がまたよく酒乱の七郎の言を聞き入れたこと。
- 4 横井小楠がよく入門を許したこと。
- 5 益城町史編纂時の小谷村での聞き取りでは、七郎の酒乱の話はなかったこと。これら1から5までみると政府の褒賞など大酒でも人格が優れ、信用が厚い人だったとの印象が強い。酒乱の真偽は楯子の体験談のみで、今は確かめようがない。

益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策



著書「矢嶋楯子」(手前)と「矢嶋楯子伝」(奥)